

経営比較分析表（平成28年度決算）

青森県 鳳岡浦村

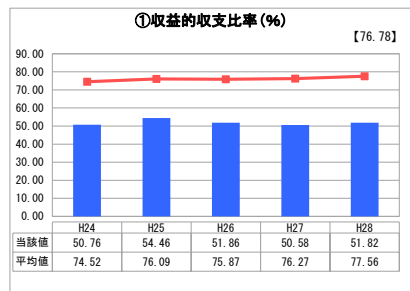
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.95	3,024	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,049	69.55	29.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,014	3.10	649.68

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



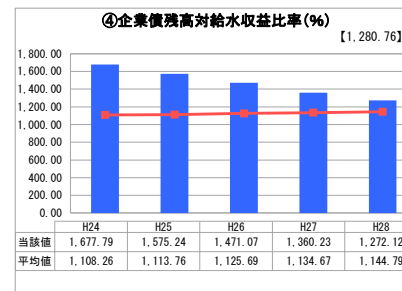
「単年度の収支」



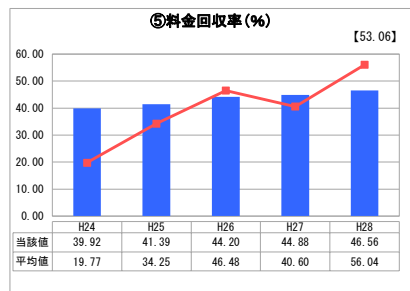
「累積欠損」



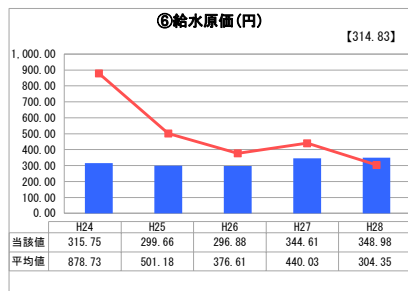
「支払能力」



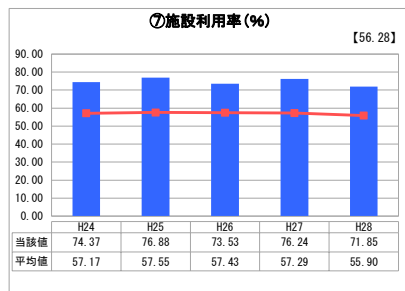
「債務残高」



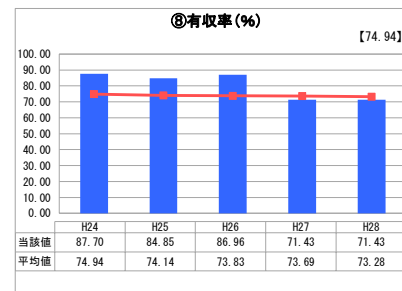
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

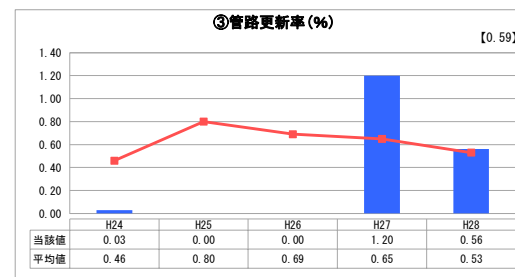
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

給水人口の減少により料金収益が低下している。支出については経年劣化等による漏水修理費の増加や施設維持管理費の増加が見受けられる。その他、起債元金及び利息の支払いにより、料金収入だけでは賅えず、他会計繰入金に依存している。

2. 老朽化の状況について

管路更新については耐用年数を超えているものはないが、老朽化と思われる漏水が多発している。また、浄水処理施設においても老朽化が進んでおり早急な対策が必要である。

全体総括

給水人口の減少による給水収益の低下や、施設の老朽化等による維持管理費の増加が問題となっている。適正な料金設定の検討と、維持管理費の削減及び投資のあり方について検討する必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。